

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



シンボルマーク

根南福祉だより

41号

(広報部)

コロナと地域福祉

会長 佐野 英夫

日頃は、富士根南地区社会福祉協議会の福祉活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響でイベント、講演会・研修会等、年間計画で予定していたすべての事業が中止もしくは縮小せざるを得ない状況となりました。しかし、コロナ禍といえども地域の置かれた状況、すなわち、高齢化の進行、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の増加などによって生じる様々な問題は、立ち止まることなく日々進行しています。

現状のWithコロナ社会にあっては感染防止を図りながら、可能な限り地域福祉活動は進めなければならない、留まることはできないのです。

私たち地区社協推進委員、役員の総力を挙げてこの苦境に立ち向かい、小地域ネットワーク活動を始め、地域の福祉課題に取り組み「いつまでも安心して暮らし続けることのできる地域」の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

皆様方のコロナ禍における地域福祉活動へのご意見ご提言をお寄せいただきたくお願い申し上げます。



第1回理事会

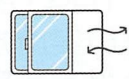
マスク着用



手指の消毒



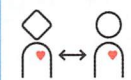
定期的な換気



消毒



距離の確保



手洗い



感染症対策

コロナ禍のネットワーク活動

企画委員長 木ノ内 高嘉

新型コロナウイルス感染拡大により、根南地区社協では自分や家族、周りの人の健康を守るため、令和2年度の地域福祉活動が中止または自粛せざるを得ない状況で推移しています。

しかし、感染防止対策により経済・社会活動が自粛される中では、一人暮らしの高齢者などが話し相手や集う場所がなくなり、健康悪化や社会的孤立の深刻化などが懸念され、ネットワーク活動では感染防止や健康管理に留意しながら、見守りをいかに進めるか課題となっています。

そんな中、先のネットワーク委員会でコロナ禍の取り組みとして、3つの事例が報告されました。

- ・ 杉田5区からは、一人暮らしの高齢者が体調不良で救急車を要請した際、救急隊員の方が家族などへの連絡先が分からず対応に苦慮したことから高齢者への「あんしんカード」の配布を行った事例
- ・ 上小泉区からは寄り合い処がコロナ禍で中止のなかスタッフによる元気づけメッセージを載せたチラシを作成し、メンバーのお宅に届けた事例
- ・ 小泉5区からはネットワーク活動での見守り対象者発掘の一環として見守り活動のチラシを全戸に配布し、活動の周知と対象となる方の連絡をお願いした事例

このように、コロナ禍でも3密を避け、マスク着用、手洗い、手指の消毒など感染防止対策を講じつつ、対象者とのつながりを途切れさせないよう創意工夫を凝らして、見守り活動を続けていくことが求められています。



マスク着用

ハンカチ使用

袖で押さえる

向う3軒両隣の関係づくりを推進したい



杉田地区福祉出前講座

研修部長 坂本 英俊

<経緯について>

昨年の推進委員研修会の中で、事例報告として発表していただいた大岩1区の福祉研修会を、自区でも検討したいという意見がありました。16区の区長様に、改めて福祉出前講座の希望有無をアンケート確認させていただいた結果、小泉2区、大岩3区、杉田1,2,3,4,5区より開催要望を受けました。

<計画について>

内容と効率を前提に、今年5月に杉田1～5区合同で、6月に小泉2区、大岩3区の予定で検討していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、全て中止となりました。

7月より感染拡大防止を考慮し、福祉出前講座の実施方法を検討した結果、各区の集会等の場を利用して、今まで準備して来た資料のみを短時間で説明することとし、今年は、杉田1～5区のみ実施することにしました。



こまめな消毒を



坂本研修部長

<開催結果について>

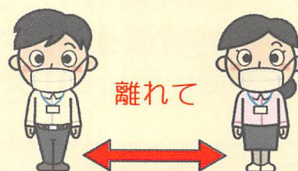
参加者は、開催区の現状集会に合わせたため、班長以上の役員全員の区もあれば、3役のみという区もあり人数に偏りがありました。

現状の杉田区の福祉課題と、それに向き合うための福祉委員と福祉協力員の役割、またその活動方法等について説明させていただきました。その結果、区毎の活動にバラツキはありますが、福祉委員を中心に、向う3軒両隣の関係づくりに、前向きに活動していきたいという心意気が全区で見られました。

この福祉出前講座が、少しでも各区での福祉活動推進の力となる事を願いつつ、今後もサポートさせていただきたいと思いました。

このコロナ禍の中、開催にご協力、ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

ソーシャル・ディスタンス



間隔を保ちましょう

■ 洗い残しの多いところ
■ やや洗い残しの多いところ



手の甲側 手のひら側

手の洗い残し

参加者の声

- ・ 隣近所のさりげない見守りが大切
- ・ ちょっとした変化を見逃さない気づきと、情報の共有をしていきたい
- ・ わからないことが多いが、現状をもっと真剣に考えなければと思う

- ・ 出前講座をやってよかった
- ・ 見守り対象者がいれば、近隣で対応できるようにしていきたい
- ・ 高齢になって班を抜ける人がいる、区としてどう考えるか



杉田4区集会所

非接触式 電子温度計の配布

根南地区社協では、新型コロナウイルス感染症拡大により活動の自粛が続く中、地域福祉活動をサポートするため各区の福祉委員を通じ、16行政区及び2カ所の子育てサロンに非接触式温度計を配布しました。



今後、コロナ感染予防に、地域の見守り活動を始め、寄り合い処、自治会の会議や行事などで有効に活用してください。

コロナ禍だからこそ、大切にしたいこと

富士根南小学校 校長 川口 秀也

新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校でも3密を避ける生活様式が余儀なくされ、子供たちの豊かな育ちを支える「人と人との心の交流」についても慎重に行わなければならない状況が続いております。

そんな中、根南地区社協の皆様にご協力いただいております、一年生の「むかしの遊び教室」は対面形式の交流を断念し、遊び方を紹介する動画を根南地区社協の皆様にご出演をお願いし撮影いたしました。動画には、お手玉名人や独楽回し名人が登場し、遊び方や楽しむコツなど、実演を交えながら子供たちに語りかけていただく様子をおさめました。

来年1月の「むかしの遊びを楽しむ会」は、動画を介しての交流となりますが、遊びをたのしみながら、子供たちのことを大切に思ってくださいる地域の方々へ、感謝の思いを馳せる貴重な時間としてまいります。



町も心もキレイな富士根南地区に

富士根南中学校 校長 望月 俊伸

10月に行われた1年生の学年行事でこんな出来事がありました。それは地域を巡るウォークラリーでのことです。グループでクイズや課題を解きながら、名所や防災施設などのチェックポイントを制限時間内にいくつ回れるかという活動です。

中に、ルールにはない途中落ちていた空き缶やペットボトルなどを拾い、いっぱいになったゴミ袋を持ち帰る生徒が幾人もいました。聞いてみると、歩いていると地域にゴミがたくさん落ちていて、拾わずにはいられない気持ちになったそうです。

「ゴミが落ちていたら誰もがさっと拾う富士根南地区・ゴミを捨てる人がいなくなり、気持ちよく登下校できる富士根南地区になるといいなあ」と言っていました。

子どもたちのそんな思いを大切に、誰もが住みやすい町の実現に共に努めて参りましょう。



拾ったゴミを分別

親子が笑顔で遊べる場所作り

おっきい和 代表 佐野 はる江

大岩3区区民館で子育てサロン「おっきい和」を月一回開いていましたがコロナウイルス感染拡大防止のため休んでいました。4ヶ月ぶりに7月から感染症対策を図りながら再開しました。母親から「子供が自由に思いっきり遊べる場所が再開してくれて本当によかった。親子でストレスの限界でした」と話してくれました。

サロンは親たちの情報交換や悩みを共有する場でもあります。子育て経験者のスタッフとの雑談、保健師からの一言アドバイス、季節の行事を取り入れたお楽しみや手遊び、スキンシップ体操、絵本の読み聞かせなど、子供達の状況を見ながら行っています。

この「おっきい和」は多くの人達の支えで今があります。サロンを利用する親子の笑顔を絶やすことなくこれからも名前のように「おっきい和」となるようスタッフと共に頑張っていきます。



コロナで時間短縮し開催中

根ねっ子サロン 代表 鈴木 祥子

平成25年2月開所初日の日誌を読み返すと、あの日のことが鮮明に思い出されます。

前日まではどれくらいの方が来てくれるのかな？お天気は大丈夫かな？と心配でした。当日はそんな心配を余所に9時半を皮切りに続々とママ達が子供の手を引き、荷物を抱えてやってきました。会場は100人を超える人で、熱気ムンムン。手遊び、絵本の読み聞かせ、2時間はあっという間に過ぎました。今日はみんなに会えてよかった！とても嬉しい！そしてスタッフの皆様には本当にお疲れ様です。そんなことを日誌に綴り、あれから7年経ち、今も携わっていただいている皆様への感謝は変わりません。ママと顔見知りになって、子供の成長を私たちスタッフもとても楽しみにしています。

あらためて、サロンの紹介ですが毎月第1、第3木曜日、午前10時から正午、場所は富士根南公民館の2階和室。子育ての情報交換、地域における居場所作りをしています。

出会いを大切に、我が子だけでなく他の子も大切に、一人ぼっちの子育てではなく、地域で、集団で、仲間作りのきっかけになり、地域の大人にも可愛がってもらい、親同士で交流を育み、地域にもつながっていくことを願います。

ここ半年はコロナ感染対策で開催時間を10時から11時。受付にて、連絡先、体調についてお伺いし、手指消毒と換気には十分気を付け感染予防をしています。

子育て中のママ、パパ、じいじ、ばあば、ぜひ根ねっ子サロンへ遊びに来てください。会えるのを楽しみにして待っています。

感染症対策しながらフレイル予防しましょう

過度の運動自粛・社会参加の制限は
フレイル(心身の生活機能の衰え)につながります

簡単な体操など
をして、身体を
動かしましょう



例 ラジオ体操、みんなの体操



ウォーキング

10の食品群を毎日食べましょう

肉 	魚 	卵 	海藻 	牛乳 乳製品
いも類 	大豆 製品 	緑黄色 野菜 	果物 	油脂類

お口の機能の衰えのことを「オーラルフレイル」と言います

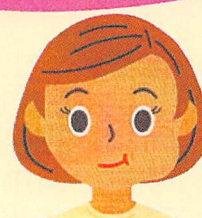
噛めない
物の増加

発音が
はっきりしない

わずかなむせ

食べこぼし

水がない場合や、むせやすい
場合は、空気でぶくぶくうがい
でもOK!



左右だけでなく、上下にも
ブクブクしてみましょう!!

しっかりブクブクうがいすることも
「**お口の筋トレ**」になります

感染症対策:「手洗い」・「うがい」・「咳エチケット」
「マスク着用」「体調管理」をして、「3密」を避けてね

新型コロナウイルス感染症に関する相談、問い合わせ
【発熱等受診相談センター】

050-5371-0561(24時間・夜間・休日も対応)



© 富士宮市さくやちゃん